

【現場除雪事例：H13 北海道 72】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / D1:構造物への配慮 / B2:現場機材の活用 / A2:気象情報確認・活用
工事種別	道路工事
工事名称	帯広広尾自動車道 芽室町 帯広JCT改良工事
施工場所	北海道河西郡芽室町西土狩
工期	平成13年6月14日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m ³ 、ブルドーザー6t、タイヤショベル 1.2m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>除雪箇所の順番を決めて必要最低限の面積を行う。法面部 水平部 集積 運搬(排出)細部は人力を併用し、構造物、施工目的物に支障の無いように注意し、施工の後戻り、補修の施工を無くした。現場内の除雪は配置済重機を使用し、運搬路等共同で使用している箇所は1台の重機を共同で配置し施工を行った。降雪が予想される時には残土の整理、資材の集積等を行い除雪作業がスムーズに行われるようにした。</p>



【現場除雪事例：H13 北海道 65】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	日高自動車道 鷓川町 米原改良工事
施工場所	北海道勇払郡鷓川町字米原
工期	平成 13 年 3 月 24 日 ~ 平成 14 年 1 月 25 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	作業開始時間前(2h程度)に早出にて進入路及び作業力所の除雪を開始し、スムーズに作業可能な状態にした。土工時に使用するバックホウにて施工した。

【現場除雪事例：H13 北海道 109】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	深川留萌自動車道 北竜町石川の沢橋下部工事
施工場所	北海道北竜町
工期	平成 13 年 3 月 24 日～平成 14 年 2 月 6 日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / ブルドーザ-3t 級、ブルドーザ-21t 級、バックホウ 0.7m ³ 級、ダンプトラック 10 t 積
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事中道路除雪にあたっては、作業開始時には除雪作業を終了し作業開始の遅延を減少する為、除雪作業を早期から開始した。降雪が多い日等は、作業終了前にも除雪作業を行い翌日に備えた。使用機械は、他の作業に使用する物と、兼用なので、作業が重複しない様作業計画を行い、作業工程に支障がない様工夫した。</p>



防寒養生囲い屋根部人力除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 7】

除雪工夫分類	A2:気象情報確認・活用 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道40号名寄市砺波改良工事
施工場所	北海道名寄市砺波
工期	平成13年3月17日～平成14年2月28日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.45、0.7m ³ 級、ブルドーザーD30、タイヤショベル 0.3m ³ 級、モーターグレーダー
現場除雪の工夫・留意点等	天気予報等により降雪量を考慮しながら、当日及翌日作業箇所を行なう。当日作業にかかわる機材において除雪を行ない、その後本作業に入る。作業用通路、資材搬入路頭の除雪用としてD30ブル、タイヤショベルを用意。



【現場除雪事例：H13 北海道 75】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	夕張スーパーダム 道道付替青葉工区工事
施工場所	北海道夕張市南部青葉町国有林野内
工期	平成 13 年 9 月 6 日 ~ 平成 14 年 3 月 18 日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 2.0m ³ 級、ブルドーザー 21t 級、ブルドーザー 15t
現場除雪の工夫・留意点等	大雪の場合はブルドーザ、少雪の時はタイヤショベルと使い分け、途中の橋梁区間は高欄の破損等を考慮しタイヤショベルにて除雪した。本工事現場で使用している重機を利用した。



大雪の場合 21t 級ブルドーザ

【現場除雪事例：H13 北海道 117】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / B2:現場機材の活用 / A4:早出や終了時の除雪
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号 虻田町 泉北歩道補修工事
施工場所	北海道虻田郡虻田町字泉
工期	平成13年11月9日～平成14年3月8日
使用機材 / 機械	油圧バックホウ0.45・、油圧バックホウ0.2・、タイヤショベル0.4・、ダンプトラック4t、ダンプトラック10t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事施工箇所は、バックホウタイヤショベルにて、道路用地内に堆積。道路用地内に堆積する場所がない場合は、ダンプトラックにて排雪して工事用の借地に堆積。一般道路は、通行規制の状況路面状況に応じて塩カル散布を行う。バックホウは、工事で使用するものを利用し、タイヤショベル4tダンプトラックは、除雪排雪用に常に現場に置く。排雪には、場合により10tダンプトラックを使用する。作業開始時の除雪作業を極力減らす為、1日の施工延長を短縮し完成断面まで施工できるよう計画を立てる。（例えば、1日の予定が100mの路肩盛土の場合、30mを盛土法面整形張芝まで行う。）後日、施工する箇所は、シートにより覆う。</p>



【現場除雪事例：H13 北海道 121】

除雪工夫分類	F:その他 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	釧路中標津道路別海町新西春別橋工事
施工場所	北海道別海町西春別
工期	平成 13 年 3 月 20 日～平成 14 年 2 月 28 日
使用機材 / 機械	塩カル / バックホウ 0.7m ³ 級、バックホウ 0.5m ³ 級、タイヤショベル 0.3m ³
現場除雪の工夫・留意点等	作業通路については、タイヤショベルにより排雪し車両出入口には、塩カルを散布した。作業ヶ所については、バックホウにより除雪し、細部は人力により除雪し、ダンプトラックにより場外に運搬処理した。バックホウは、現場の使用機械の転用。タイヤショベルは、冬期間リースし使用



作業箇所ショベル、人力にて除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 127】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / B4:シートの活用 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号札幌市簾舞改良工事
施工場所	北海道札幌市南区簾舞
工期	平成13年3月23日～平成14年2月20日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.4m ³ 級、ブルドーザー2t
現場除雪の工夫・留意点等	除雪する範囲をその日、又は明日作業予定区域に限定し、なるべく二度手間にならない様にした。路床部にはシートで覆い、雪の残留を防いだ。使用機械は、作業に使用する機械を用いた。但し歩行者通路の除雪は小型除雪機で行った。



【現場除雪事例：H13 北海道 134】

除雪工夫分類	C1:作業員の安全 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	旭川紋別自動車道 上川町 清水橋下部外一連工事
施工場所	北海道 上川郡 上川町
工期	平成 13 年 8 月 25 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	油圧ショベル 0.7m ³ 級、キャリアダンプ 10t
現場除雪の工夫・留意点等	狭所の場所をキャリア運搬する為、他の作業員との接触事故等が起きないように、運転者には周囲の安全確認の徹底を指示しています。油圧ショベル、キャリアダンプは土工事に使用する機械を併用。



構造物箇所除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 150】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	小樽港線（道単）交安施設（自歩道）工事（冬）
施工場所	北海道小樽市
工期	平成 13 年 10 月 29 日～平成 14 年 2 月 20 日
使用機材 / 機械	竹ホウキ、スコップ、塩カル / タイヤショベル0.3m3級、バックホウ0.2m3級、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	歩道部施工の為、歩行者通路確保の為、歩道部・車道部の両方の除雪を行った。又、観光地である為、おみやげ屋も多く、各店舗前の排雪も行った。（住民要望により）車道部の除雪後は塩カル散布を行った。現場施工機械を使用。除雪も現場作業の機械は兼用した。但し、ダンプトラックに関しては積雪の状況に応じて台数を増やし、施工した。車道部は、降雪後、一般車スリップ防止の為、塩カル散布を行った。（一車線規制作業の為）観光客が多数通行する箇所なので、観光客が滑らないようにマットを敷いて転倒防止を行った。



歩行者が滑って転ばないように工夫した

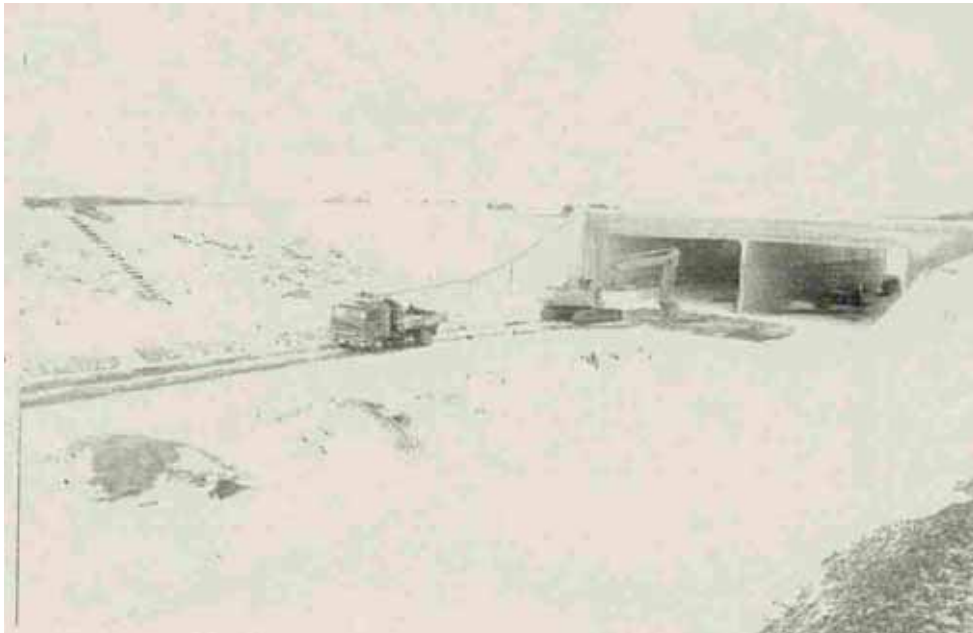
【現場除雪事例：H13 北海道 154】

除雪工夫分類	B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	平取静内線 改良工事 2 区
施工場所	北海道新冠郡新冠町字岩清水
工期	平成 13 年 9 月 25 日～平成 14 年 3 月 15 日
使用機材 / 機械	竹ボウキ、除雪スコップ / バックホウ 0.8m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	法枠部分の除雪には親網、安全帯を使用し、竹ボウキ、スコップを用い人力により上から下に順に落とすようにして行った。機材については、本工事で使用している物（0.8m ³ 級バックホウ）を使用し、手持ちの機械で行う様にしました。



【現場除雪事例：H13 岩手県 4】

除雪工夫分類	B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	下似内道路改良舗装工事
施工場所	岩手県花巻市下似内
工期	平成13年10月6日～平成14年3月29日
使用機材/機械	スノーダンプ、スノースコップ/バックホウ 0.4m ³ 、バックホウ 0.25m ³ 、ブルドーザ 5t
現場除雪の工夫・留意点等	現在施工している箇所又、資材搬入路の邪魔にならない位置、仮に溶けたとしても、被害のない場所に除雪しています。現場で使用している、バックホウブルドーザを使用しています。特に、除雪専用の機械は用意していません。



除雪、排雪状況

【現場除雪事例：H13 宮城県 2】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示 / B2:現場機材の活用 / C1:作業員の安全
工事種別	道路工事
工事名称	監査廊連絡通路改良工事
施工場所	宮城県柴田郡川崎町大字小野地内
工期	平成 13 年 12 月 29 日 ~ 平成 14 年 3 月 27 日
使用機材 / 機械	スコップ、竹ホウキ / バックホウ 0.25m ³ 級、ブルドーザー 3 t 級、ホイールローダー 0.3m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>降雪が予想される時は、予め作業終了前に掘削孔上部にブルーシート等で覆い、雪によって床付面が粗されない様に養生する。機械除雪が可能な場所においては、危険箇所及び障害物等周辺に目印となるものを設置する。融雪によって雪解け水が侵入する恐れのある箇所は、掘削孔周辺に土のうで設置し、侵入を防ぐ。使用する機材については、常時、現場にあるものを使用する。例えば土工事の施工中においては、当現場において、バックホウで雪を収集し、クレーン及びダンプトラックで場外へ搬出する又、土工事施工外においては、積雪量はよっては、必要機械を回送し、対応する。積雪量が少ない場内は常備品であるスコップを用いたスカ除雪を行う。工事車輛出入口及び斜面部分等、スリップ事故の恐れのある箇所では塩カル材を用いて凍結部分を融解させ、事故を防止する。</p>


【現場除雪事例：H13 山形県 13】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度 緊急地方道路整備事業 主要地方道 酒田松山線 電線共同溝(C.C.BOX)整備工事
施工場所	山形県酒田市上本町地内
工期	平成13年3月27日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	スコップ / バックホウ 0.25m ³ 、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>当日の作業範囲をバックホウで集積、積込みし、ダンプトラックで現場外集積地に運搬した。歩行者通路(歩道)を人力+スコップで歩道内に除雪した。機材については、全て当日の作業で使用する機材を利用した。重機足場となる箇所は、滑動防止の為、完全除雪した。歩道内の除雪は、幅員1m以上を確保した。</p>



バックホウ集積状況

【現場除雪事例：H13 新潟県 32】

除雪工夫分類	B2:現場機材の活用 / F:その他
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度 緊急地雪寒1 - 2号 柴倉・津川線 緊急地方道 (Bタイプ・雪寒) 工事
施工場所	新潟県東蒲原郡上川村大字三宝分乙地内
工期	平成13年8月31日～平成14年3月11日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>ブロック積作業箇所は高所作業となるため、降雪に応じ順次、高所から人力除雪を行い、また、作業ヤードに関しては、バックホウにより除雪します。除雪された雪等は集積し河川に投入し融雪します。現場内に使用中であるバックホウ (0.7m3 級) を使用します。除雪作業は、一端貯めてしまうと作業が困難になるため降雪に応じて常に除雪を行い、現場内の雪は極力、無くすようにしました。積上がり箇所/胴込め部/ストック分の製品などにはシートをかけ練炭を入れるなどを行い、雪の混入/凍結を防止しました。</p>
	
現場内作業状況	